

◆第3回ふくしま元気トーク(2/21開催):「生涯住みたいまち ふくしま」意見対応状況

No.	意見・提案内容	実施区分	担当課コメント	所管部名	担当課名
1	市民の方全体に聞いたらもっと意見があつて面白いのかなと思いました。	現在実施中	市の広聴事業として、ふくしま元気トークやLINEを活用したアンケート、市長直通便や出前講座等の中で、市民の皆様の意見をお聞きし、共創によるまちづくりを進めています。	政策調整部	広聴広報課
2	アオウゼのような学習スペースがあるまちが生涯住みたいまちです。アオウゼみたいな立派なところじゃなくてもいいので、周りを気にせずに勉強に集中できたり、電車を待つ少しの時間に勉強できるような、気軽に利用できるスペースがあればいいと思いました。	現在実施中	福島市子どもの夢を育む施設「こむこむ」では、チャレンジウォール前のフリースペース及び2Fの交流コーナーに机とイスを常備しており、開館日の午前9時30分から午後7時まで学習スペースとしての使用が可能です。また、本市に16カ所ある学習センターでは、開館日に空き部屋がある場合に限りですが、個人で学習する方に講義室等を午前9時から午後5時45分までお貸ししております。	教育委員会	生涯学習課
3	通学時など、いつ災害が起きて大丈夫なように、交通機関などの人目につくところに、避難関係のポスターや地図を置くことを考えました。 【市長】ポスターだと、例えば飯坂線だったら、停まる駅で避難場所とか全然変わりますよね。その場で対応できるような災害アプリみたいなので、いろいろな情報が出てくるとかいたら、みんな使いますか。 ⇒【学生】アプリは使えると思います。今は学生でもスマートフォンを持っている方多いので、QRコードとかで、情報を手に入れやすくなると思います。	現在実施中	早い段階で、災害や避難情報のお知らせをする「防災と災害情報メールマガジン」を配信しています。市のホームページ等から、QRコードで取得もできます。また、新たに令和3年10月より、スマートフォンやタブレット端末向けに防災情報などがプッシュ通知で届く「福島市公式防災アプリ」の配信をスタートしました。	危機管理室	
4	私のクラスメイトに帰国子女がいて、いろいろな外国人と話して自分の英語力を保持したいと言っていました。 外国人と日本人が交流する場所があれば、外国人は日本語の勉強になり、福島のいいところをもっと知ってもらえるような機会になるのかなと思います。学生だったら異文化理解や外国語の勉強のモチベーションアップにつながり、勉強する機会になると思います。	現在実施中	福島市では国籍や文化などの違いを互いに認め合い、それぞれが自立しながら協力し合って活力あるまちづくりを進めていくことが大切と考え、令和2年8月に「多文化共生のまち福島推進指針」を策定いたしました。 市では海外から国際交流員を1名任用し、英語講座の開催をはじめ、市内の学習センターや学校などで国際理解講座を行い交流活動の促進を図っているところであります。 また、市国際交流協会においては、多文化共生推進のシンボルイベントとして「結・ゆい・フェスタ」を開催し、外国人コミュニティをはじめ、国際交流団体や高校生ボランティアなど市民の方々为一体となった交流事業を行っております。	市民・文化スポーツ部	定住交流課
